

あの時やっておけばよかった…

今、後悔しないよう

聴いておくべき!

テーマ

住まいの耐震・防耐火性能もチェックを

昨年度の一室断熱改修に引き続き、今年度は、能登半島地震、大分佐賀関大規模火災等で、既存木造住宅の脆弱な耐震性能・防火性能が注目されていることから、自宅の一室の断熱改修とあわせて耐震・防耐火を行うことで、地震時・火災時に自ら命を守る必要性を多くの方に知ってもらい、その様な分野でも建築士が職能を活かして貢献できることをアピールします。

7月1日は
建築士の日!
(6月28日10時～
無料配信中)

基調講演・パネルディスカッション

- ・基調講演① 長谷見雄二氏(早稲田大学名誉教授)による防耐火改修の紹介
住宅を部分的にでも火事に強くできれば、地震火災における・人命の危険を減らせるのではないかと
- ・基調講演② 稲山正弘氏(東京大学名誉教授)による耐震改修の紹介
災害時のリスク対策の観点から、断熱改修+耐震改修+防耐火改修の3点改修
それぞれ専門家の立場から、改修の必要性に関する基調講演
- ・パネルディスカッション 長谷見雄二氏+稲山正弘氏+古谷誠章(日本建築士会連合会会長)による断熱改修+耐震改修+防耐火改修の必要性について

YouTubeにて
無料配信中! 申込不要



連合会チャンネル



連合会HP

例えば小屋裏で繋がった屋根の延焼の危険性

小屋裏で延焼している



城崎温泉火災(2015)

小屋裏を延焼した

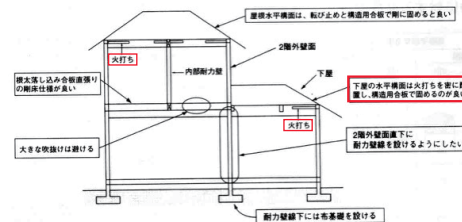


糸魚川火災(2016)

世帯間に界壁はあっても小屋裏で繋がっていると、小屋裏を通して次々に延焼し、消防隊も消火困難に。1959年改正で長屋等は小屋裏隔壁を義務化。但し、中々、遵守されなかった

1階部分の強化

1階の壁量が不足していたため
2階に押しつぶされて倒壊しない改修

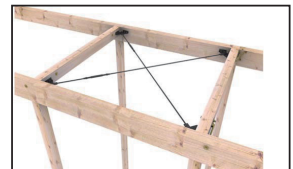


水平構面の強化

小屋組や2階床下に火打ち又は水平ブレースを設置して水平構面を固める



火打ち金物の例
BXカネシン住宅資材カタログより



水平ブレースの例
タナカ住宅資材カタログより



昨年度の動画配信とあわせて
視聴すると、より深く理解できます。

▶ 昨年度の動画を公開中

申込不要



連合会チャンネル



連合会HP

お問合せ

公益社団法人

日本建築士会連合会

Mail:jigy01@kenchikushikai.or.jp

日本建築士会連合会は、全国組織であり、建築士の職能の向上と社会貢献を目的に活動している公益法人です。